



三好 菜摘さん

NATSUMI MIYOSHI

みよし なつみ
経済学部4年
2012ミスキャンパス

高

校生の時から、社会がどう動くのかを理解したかったから経済学部を志望してしました。いろいろ調べて歴史と実績のある香川大学に入学しました。

香川大学に入って最初に感じたのは、自然に溶けこむキャンパスだなということ。高松は街と海がちようどよい近さにあり、大学の屋上からは、瀬戸内海に夕陽が落ちる景色が見えるんですよ。地域の人と関わるチャンスも多いので、自分の得意分野を生かし、学外でも活躍している学生が多いと感じます。

私も大学外での、フランス料理店でのアルバイト経験が大きな転機につながりました。以前は内向的な性格でしたが、お客さんと話をするうちに、人前に入る

ことに自信が付いたので。「もつと人前で表現できる人間になり」という前向きな気持ちになり、昨年のミスキャンパスコンテストに自薦で応募しました。グランプリに選ばれたこと以上に、自分の意志で応募を決め、本番で自分を表現できたこと、また運営スタッフや他の出演者と一緒にイベントを盛り上げて成功させたことが、大きな財産になったと感じています。

今、受験を控えている人は、入試で壁にぶつかったり、勉強が辛いと感じたりすることがあるかと思えます。でも、その経験は絶対に自分の糧になる。あきらめないで頑張ってみてください。頑張った結果、香川大学を目指してくれるなら、私も嬉しいです。

MESSAGE 受験生へのメッセージ

経

経済学部で企業経営におけるマーケティング論を専攻

していますが、実は高校3年まで理系でした。受験の時、自分の本当にやりたいことは何だろうか？と真剣に悩み、経済学部を受験。1年間の浪人時代、香川大学に入学した友達に大学や授業のようすを聞き、本当に興味のある内容・教わりたい先生がいることを知りました。結果、納得して志望校選びができたと思います。大学で出会ったのはヨットです。

見学に行きヨットに乗った時、自分の知らない世界があることに衝撃を受けました。ヨットはモーターを使わずに風の力で走ります。競技ヨットは2人で動かすのですが、一人だけが頑張ってもダメで、協力しないと競技には勝てません。中高時代は個人競技の剣道部だったので、人と協力する面白さにも惹かれました。

今の僕のルーツは、ここヨットにあります。

4年間で僕には仏・加・独・露・中・韓の6か国の友人ができました。学食で「君も中国人だよな？」と話しかけられたことがきっかけでしたが、香川大学には面白い人との出会いがいっぱいあります。

皆さんも自分の興味にもっと正直になると、本当に納得のいく道が見つかると思います。受験勉強で精一杯の毎日でも「自分のやりたいことは何だろうか？」と考えてみる。やりたいことを決めてから大学パンフレットを見てはどうでしょうか。そこに自分が求めるものがあるのか、答えが出ると思います。自分のしたいことをする以上は、自信を持ってやらないと意味がない。自分が選んだ進路なら誇りを持って歩んでいける、僕はそう思っています。



高橋 大介さん

DAISUKE TAKAHASHI

たかはし だいすけ
経済学部4年
ヨット部キャプテン